

「こむねっとひろしま」を活用しましょう

町内会・自治会の活動を住民同士で共有したり、まちの魅力を町外の人へアピールするために「こむねっとひろしま」をご利用ください。

☎市民活動推進課(☎504-2131、☎504-2066)

「こむねっとひろしま」とは

町内会・自治会、連合町内会、地区社会福祉協議会などの地域団体が、自分たちのまちのホームページを簡単に作成できるシステムが「こむ

ねっとひろしま」です。地域団体の活動や行事など、回覧板などでお知らせしている情報を掲載すれば、地域の皆さんがいつでも気軽に見ることができます。地域のホームページを簡単に立ち上げてみませんか。

インタビュー



だいちわだ 大和台自治会(東区) 会長・中村英明氏

こむねっとひろしまで新しい地域のつながりができました

自治会にこむねっとひろしまを導入して約1年がたちます。使い方が簡単で分かりやすく、導入して良かったと感じています。

ホームページの運営は、役割を決めて複数人で行っており、月に1回委員会を開催し、メンバーで掲載内容などを話し合っています。何度も見たいと思ってもらえるように、まちの

様子や景色、動物の写真などを掲載し、定期的に更新するように心掛けています。実際に、カレンダー機能を使って自治会のイベントなどを掲載することで、初めての参加者や隣町からの参加者が増えました。また、お知らせ機能を使って住民に伝えたい情報をいち早く知らせることができています。

今後は、各家庭の花の写真や地域の子どもたちに関わるイベントなど、より地域に密着した情報発信をして、地域のつながりをさらに増やしていきたいです。

「こむねっとひろしま」の特徴

- マウス操作と文字入力できれば誰でも簡単に作成可
- 利用は無料(インターネット接続に係る通信料は各自で負担)
- 開設・運営について不明な点は、市職員が随時サポート
※詳しくは電話、ファクス、メールでお問い合わせを

【こむねっとひろしまでできること】

まちの魅力をPR

地域外の人にも地域を紹介

広島市からのお知らせ

最新のお知らせを表示



まちのカレンダー

地域の行事予定などを発信

まちのお知らせ

回覧板と同じ内容を掲載

まちのアルバム

行事などの写真や動画を配信

詳しくは、市ホームページで **市HP** ページ番号 **15577**



町内会・自治会に入りましょう

- 各区地域起こし推進課(右記)で加入の取り次ぎを行っています
- 右の二次元コードからも加入の取り次ぎの申し込みができます



区	連絡先	区	連絡先
中	☎504-2546 ☎541-3835	安佐南	☎831-4926 ☎877-2299
東	☎568-7705 ☎262-6986	安佐北	☎819-3905 ☎815-3906
南	☎250-8935 ☎252-7179	安芸	☎821-4905 ☎822-8069
西	☎532-0927 ☎232-9783	佐伯	☎943-9705 ☎943-9718

キャッシュレス決済を導入します

各区役所市民課窓口での各種証明書発行時などの支払い手段に、クレジットカード、二次元コード、電子マネーなど、現金を使わずに支払いできるキャッシュレス決済を導入します。

☎総務課区政係(☎504-2112、☎504-2069)

1月20日(木)から各区役所市民課窓口で、利用できます

利用可能な決済手段

【クレジットカード】



【二次元コード】



対象の証明書 など

- ・戸籍全部(個人)事項証明書(戸籍謄抄本)
 - ・除籍全部(個人)事項証明書(除籍謄抄本)
 - ・戸籍附票の写し
 - ・住民票の写し
 - ・住民票記載事項証明書
 - ・印鑑登録証明書 など
- ※一部、キャッシュレス決済が利用できない証明書などもあります

【交通系電子マネー】



【電子マネー】



「広島市歌」をご存じですか

昭和40(1965)年に市が選定した「広島市歌」。市役所本庁舎・区役所で流れる時報(オルゴール)などで使用されています。その成り立ちなどを紹介します。

☎広報課(☎504-2116、☎504-2067)

平和と復興への願いを歌に

広島市歌は、被爆20周年を転機に、市復興の原動力となった市民のたくましい意欲をさらに高めようと、歌詞を一般公募して選定されました。当時、歌詞の公募は大きな反響を呼び、市のみならず北海道や九州からも応募が寄せられたといいます。857点の応募作品は、選考委員会で審査し、市在住の西村福三氏(当時:戸坂小学校校長)の作品が選出されました。

この入選作を一部補作した歌詞に、「オリンピック讃歌(開会用)」の作曲家・清水 脩氏が曲を付け、現在の広島市歌となりました。

広島市歌

作詞 西村福三
作曲 清水脩

あらし た め 芽をふいた
風 に 耐 えて ちから ちから
くさき まち ちから ちから
草 木 は 街 の 力 で す へい わ ね が
ひろしま かがや き はな
広 島 の 輝 き み ど り 咲 く 花 を
きょう こころ きざ
今 日 の 心 に 刻 み ま し ょ う

なが の 伸 び て き た
流 れ と と も に い の ち
デルタ は 街 の 生 命 で す へい わ み や こ
ひろしま あか みち いえ
広 島 の 明 る い 道 を 家 な み を
みんな の 心 で そだ
育 て ま し ょ う

あす いの こめて なる
かね まち のぞ へい わ ほこ
鐘 こ そ 街 の 望 み で す 平 和 を 誇 る
ひろしま ぶんか いえ
広 島 の 文 化 の ひび き 歌 声 を
せかい こころ おく
世 界 の 心 に 贈 り ま し ょ う

・・・他にもあった広島市歌・・・

過去「広島市歌」と同じ題名の曲があったことが分かっています。(市が選定したものではありません)

■明治末期・大正初期

明治22(1889)年に市が誕生した後、明治45・大正元(1912)年頃に「広島市歌」と呼ばれた曲がありました。地元の歯科医・矢田部藤吉氏が作詞し、広島市の歴史的發展を詠み込んだその歌詞に感銘を受けた学習院教授・納所弁次郎氏が曲を付けたものです。

■昭和初期

昭和4(1929)年、隣接していた七つの町村が市と合併したときにも、「広島市歌」は作られています。畑耕一氏の作詞、永井建子氏の作曲によるもので、中国新聞社が市主催の昭和産業博覧会に協賛する目的で作成し、市に寄贈されました。

市HP ページ番号 12860

